

# 児童ら富岡町民と交流

## 富岡の仮設住宅訪問 花苗を植栽

花を植え交流する児童ら



郡山市の桃見台小と桑野小の児童、ナーサリールームまんまぴあ本園の園児は十五日、市内の富岡町若宮前仮設住宅を訪ね、花苗の植栽を通じて住民と交流した。

県の「子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業」の一環。児童と園児、桜木二丁目町内会、東京電力福島第一原発事故に伴い仮設住宅で避難生活を送る富岡町民の住民ら約五十人が参加した。赤や青、ピンクのビオラやパンジー約五百株をプランターに植え替えた。

参加者はゲームなどで楽しい時間も過ごした。最後に、児童らから町民にシクラメンの苗が贈られた。

## 仮設住宅で花の苗植え交流

郡山市の桃見台、桑野両小学校の児童と保育所「ナーサリールームまんまぴあ本園」の園児は15日、同市の富岡町若宮前仮設住宅で花の苗植えを行い、子どもたちが富岡町民や地元住民と交流した。県の「子どもがふみだすふくしま復興体験応援事業」の一環として、毎年花を通した



交流活動を行っている。児童、園児約40人が訪れた。子どもたちは町民や地元住民約20人と協力しながらビオラとパンジーの苗をプランターに植え、鮮やかな花々で彩った＝写真。